

- 長年の構造改革のタブーへの切り込み（電力・農業・医療等での岩盤規制改革、国家戦略特区）
- 旧3本の矢により、円高、高い法人税、TPPの妥結遅れ等の6重苦は解消の方向へ。

民間投資を生む環境は  
整いつつある

- **新たな課題**：①600兆円に向けた、新たな有望成長市場の創出・拡大
- ②人口減少社会、人手不足を克服するための生産性の抜本的向上
- ③新たな産業構造への転換を支える人材強化

## 1. 600兆円に向けた「官民戦略プロジェクト10」（仮称）

### 1-1：新たな有望成長市場の創出

- ① **第4次産業革命（Society5.0）（IoT・ビッグデータ・AI・クラウド）【付加価値創出：30兆円（2020）】**
  - 自動走行（2020年高速道路での自動走行）、即時オーダーメイド生産、スマート工場、FinTech、ドローン（3年以内のドローン配送実現）
  - 企業・組織の枠を超えたデータ利活用プラットフォーム創出、シェアリングエコノミー、サイバーセキュリティ
  - 中堅中小企業への導入支援（小型汎用ロボの導入コスト2割減・中小企業1万社を重点支援）等
- ② **世界最先端の健康立国へ【市場規模：16兆円（2011）⇒26兆円（2020）】**
  - 健康・予防に向けた保険外サービス促進（4兆円の市場創出）
  - IoT等の活用による医療診断・個別化医療・個別化健康サービス（レポート・健診・健康データを集約・分析・活用）
  - ロボットやセンサーを活用した介護の負担軽減 等
- ③ **環境エネルギー制約の克服と投資拡大**  
【エネルギー関連投資：18兆円（2014fy）⇒28兆円（2030fy）】
  - 省エネ（産業トップランナー制度を3年で全産業の7割に拡大、中小企業の支援）、再エネ（FIT法改正による国民負担抑制と最大導入の両立）、資源安全保障の強化
  - 節電取引市場の創設（2017年）、燃料電池自動車の本格的普及など水素社会の実現（2030年に関連投資1兆円）等
- ④ **スポーツの成長産業化【市場規模：5.5兆円（2015）⇒15兆円（2025）】**
  - スポーツ施設の多機能化、スポーツとIT・健康・観光・ファッション等との融合・拡大 等
- ⑤ **既存住宅流通・リフォーム市場の活性化【市場規模：11兆円（2013）⇒20兆円（2025）】**
  - 資産価値を評価する流通・金融等の仕組み構築、インスペクション・瑕疵保険普及等

### 1-2：ローカルアベノミクスの深化

- ⑥ **サービス産業の生産性向上【付加価値：343兆円（2014）⇒410兆円（2020）】**
  - 生産性伸び率を2%へ倍増。
  - トラック・旅館・スパ等7分野の生産性向上のための法的枠組み、固定資産税軽減、地域金融支援 等
- ⑦ **農業改革・輸出促進【6次産業市場：4.7兆円（2013fy）⇒10兆円（2020fy）】**
  - 農地集約、生産資材のコスト低減、農産品の流通構造改革
  - スマート農業（2020年遠隔監視・無人自動走行）、産業界と農業界の連携体制構築 等
- ⑧ **観光立国【外国人旅行消費額：3.5兆円（2015）⇒8兆円（2020）、15兆円（2030）】**  
※なお、訪日外国人と日本人の旅行消費額の合計は、約25兆円（2015）⇒29兆円（2020）、37兆円（2030）
  - 地域観光経営の推進、観光経営人材の育成、広域観光周遊ルートの世界水準への改善、国立公園のブランド化、文化財の活用促進、休暇改革 等
- ⑨ **2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた見える化プロジェクト**
  - PPP/PFI等による公的サービス・資産の民間開放拡大
  - 【10年間（2013～2022）でPPP/PFI事業規模を12兆円に拡大（見直し中）】
  - 「改革2020」プロジェクト（自動走行、分散型エネルギー、先端ロボット等） 等

### 1-3：国内消費マインドの喚起

- ⑩ 官民連携による消費マインド喚起策等

## 2. 生産性革命を実現する規制・制度改革

- **新たな規制・制度改革メカニズムの導入**
  - 産業革新の将来像に基づき設定した中期目標からバックキャストして、具体的改革を実施するロードマップ方式の導入
  - 事業者目線での規制・行政手続きコストの削減（規制改革、行政手続簡素化、IT化） 等
- **未来投資に向けた制度改革**
  - コーポレートガバナンスの更なる強化（取締役会の実効性向上、情報開示等を通じた建設的対話の促進）、無形資産・研究開発への投資促進、国家戦略特区 等

## 3. イノベーション創出・チャレンジ精神に溢れる人材の創出

- **イノベーション、ベンチャー創出力の強化**
  - 企業から大学・研究法人への投資3倍増（2025年）
  - 国内外のトップ人材を集めた世界的研究拠点5ヶ所創出
  - 人工知能研究開発の司令塔設置（人工知能技術戦略会議）
  - 民間主導の「地域と世界の架け橋プラットフォーム」整備、政府機関合同でベンチャー支援コンソーシアムの設置（政策の共同企画、支援の重点化） 等
- **多面的アプローチによる人材の育成・確保**
  - 初等中等教育でのプログラミング教育の必修化（2020年～）・IT活用による習熟度別学習、高等教育での数理・情報教育の強化、トップレベル情報人材の育成
  - 「第四次産業革命 人材育成閣僚会議（仮称）」の設置
  - 世界最速級の「日本版高度外国人材グリーンカード」（高度人材の永住権付与の迅速化） 等
- **成長制約打破のための雇用環境整備、女性の活躍等多様な働き手の参画**
  - 長時間労働是正に向けた取組強化
  - 女性の活躍推進（待機児童の解消、ダイバーシティ経営の促進）、高齢者の活躍推進 等

## 4. 海外の成長市場の取り込み

- **TPPを契機にした中堅・中小企業の海外展開支援**  
【13.8兆円（2013fy）⇒25.2兆円（2020fy）】
- **インフラシステム輸出の拡大【約16兆円（2013）⇒約30兆円（2020）】**
- **対内直接投資誘致の強化**
- **経済連携協定、投資協定の締結の推進**